

2023年7月26日

株式会社 MBS メディアホールディングス

各位

社長記者会見を開催しました

本日、当社完全子会社の毎日放送が、記者の皆さんと対面した形で会見を開催し、同社代表取締役社長の虫明洋一とともに、当社代表取締役社長の高山将行が出席しました。記者会見での発言概要は、以下の通りです。

たかやまさゆき

【MBS メディアホールディングス 高山将行 社長あいさつ】

4月に新劇場「Sky シアターMBS」の記者会見に多数ご来場いただき、有難く存じ上げています。これから落としの内容をお伝えしたこともあるのですが、久しぶりのリアルに対する期待感も含めまして、来年春の開業に向けて、引き続き応援していただけたらと思います。

むしあきよういち

【毎日放送 虫明洋一 社長あいさつ】

報告すべきことが3つ。ひとつ目は4月1日に放送基準を改訂しました。昭和33年以来です。若いメンバーで大いに議論しました。2つ目は、らいよんチャンが勤続20年を迎えまして、わが社を背負って全く老いることなく頑張ってくれていることに感謝。3つ目は、社内の色々なところが動き出したのかと。番組のロケや取材もだんだん外を意識するようになり、イベントも活気を帯びてきました。阪神タイガースがすごい勢いで、いい意味での熱さを醸し出してくれているかと思っています。

【主な質疑応答】

Q. 阪急阪神HDが阪急三番街をはじめとする一帯の再開発を検討しているが、期待や展望は？

A. 昨年の阪急阪神HDの構想で「梅田ビジョン」として具体的に描かれていた中でも、「芝田1丁目計画」は、最重要プロジェクトとの位置付けであるとされていました。阪急大阪梅田駅を、将来を見据えた新しい駅に変革していくなど、幅広い視点から計画の熟度を高めていく必要がある、との表現でした。MBSグループでは、「街の賑わいの創出」は、これから取り組むテーマのひとつであると考えています。たとえば、6月にはアニメ、ドラマを中心にMBSコンテンツの力を活かした新たな街イベント「ちゃやまち推しフェスティバル!」を開催しました。多くの若い方が好きなコンテンツの魅力に触れようと集まり、コロナ禍前をしのぐような活気あふれる状況で、11万5000人の方が来場されました。これは一例ですが、「芝田1丁目計画」と繋がりを持つことができ、多くの協業が生まれて行けばありがたいと期待を寄せています。

Q. 放送業界でも人材強化が近々の課題かと思うが、「キャリア採用」についての方針と戦略は？

A. MBS のグループでは、変わらず放送を柱に、コンテンツを作って発信していく、さらにもう少し広げて不動産を含めた新規ビジネスを、グループ全体で役割を整えながらやっていけたらと考えています。中途採用やキャリア採用という従来の考え方ではなく、毎日放送からの出向、会社ごとの加入や個人の応募など、グループ19社で1050人のうち120人が新しい分野に取り組んでいます。放送局としてやってきたこと、ブランドとか考え方などの価値をより高められるよう、新しく参入していただいた方々と一緒になってやっていくことが大事だと思います。

以上

本件問い合わせ先: 広報部